

事業紹介 筑西三和線バイパス事業

令和元年10月末時

〈事業目的〉

筑西幹線道路は、北関東自動車道桜川筑西ICから筑西市・結城市等を経て、古河市に至る計画延長約44kmの広域的な幹線道路です。

本道路の整備は、県西地域内の主要都市間の連携強化はもとより、県央地域との交流の円滑化や、県土の均衡ある発展に寄与し、さらに、茨城港、茨城空港との連結による、新たな物流体系の構築や企業立地の促進などに資することが期待されています。

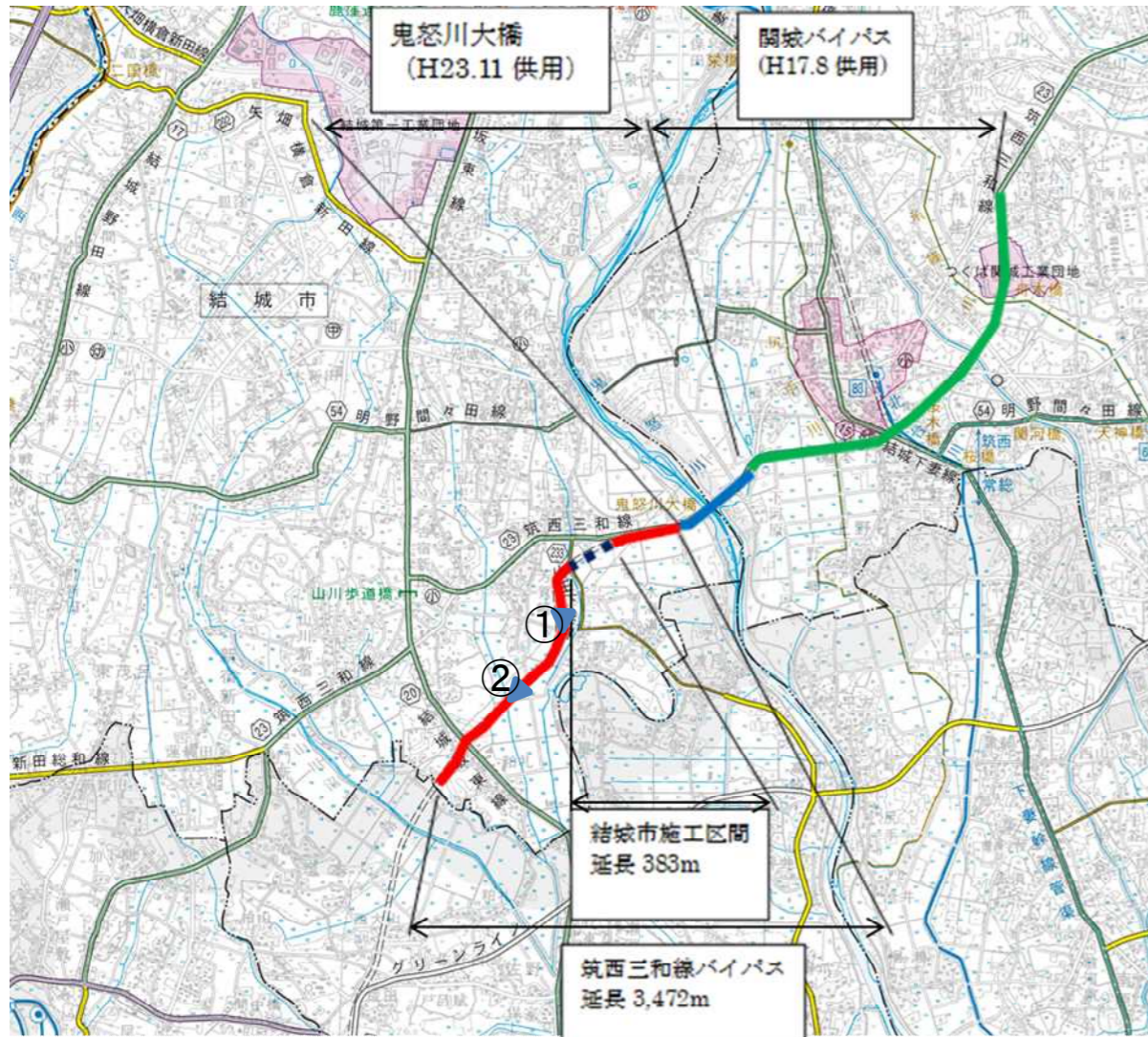
効率的な整備を図る観点から、既存の整備済みの道路等をルートに含めるとともに、国、県、関係する市町が分担しながら、暫定2車線として整備を進めています。

当所が所管する計画延長は約11.5kmで、うち約5.4kmは供用しており、現在は、鬼怒川大橋から八千代町境までの約3.1km(結城市工区抜き)区間について整備を進めています。

〈事業概要〉

- 路線名 主要地方道 筑西三和線バイパス(結城～八千代)
- 箇所 結城市山王～結城市粕礼
- 延長 L=3,472m(県整備区間:3,089m, 結城市整備区間:383m)
- 幅員 W=23.5/6.5 m(暫定2車線)

【位置図】



【現況写真】



【標準横断図】

